

芸 振

大分県芸術文化振興会議会報

県芸術祭特集号 No.2 45・10

発行所・大分市大手町 県教育庁社会教育課内 県芸術文化振興会議事務局
発行人・米田 貞一 編集人・田村 卓夫

第6回大分県芸術祭開幕

芸 術 の 秋 辻 英 武

ことしも芸術の秋がやってきました。「芸術の秋」ということばは正直言って大分県芸術祭が催されるようになって、始めて実感として身近に感ずるようになった気がします。

その大分県芸術祭もことしで6回目を迎え、10月1日、ことしは大分県音楽協会が総力を結集したペーターペン生誕二百年記念大演奏会で華かにその幕をあけました。

音楽、舞踊、演劇、美術、文芸等、芸術のあらゆるジャンルを通じてこの1ヵ月間に主催行事や集中行事がいつせいに行われることは考えてみるとすばらしいことです。そしてそれらは、みなそれぞれのジャンルに拠る会員たちの熱心な支持を受けて広く県民にアピールしようとしています。

またこの芸術祭は回を重ねるに従って、ひとり大分・別府を中心とした行事にとどまらず、広く全県下の愛好者たちによって地域ごとに市町村単位に、あるいは文化祭や芸術祭の名で、その底辺をひろげようとしています。

新産業都市建設のたくましいつち音によって、大分経済の急速な浮揚が見られつつあるこんにちです。産業はおこつたが公害などのデメリットで庶民が犠牲になったり、エコノミックアニマルを育成しただけという結果に終らせないためにも、今こそ教育の振興、福祉の向上、文化のレベルアップが必要なときです。すでに6回目を迎えた大分県芸術祭の開催は、こうした意味からも県民文化の向上にささやかながらもひと役買ってきていることを信じて疑いません。

日本経済の成長の、目を見はるような伸びは、ややもすると、人間が人間であることを自ら拒否し、企業優先のもと機械化し金銭の奴隷と化し、魂のない人間を作る危険性がないと誰が保証できましようか。日本経済の急激な成長にともなう社会のひづみについては、すでに多くの心ある人々によってしばしば指摘されてきているところでもあります。調和のとれた人間社会の経済の発展こそ強く望まれておるのでありますが、そのことは個々の人間についてもいえることであります。その意味において「大分県芸術祭」が果たし、また今後果たそうとしている役割は決して小さくはないと考えるのであります。「芸術の秋」を迎えるに当たりこの芸術祭が新産都の発展とともに、さらに飛躍的に盛大となり、県民文化のレベルアップにその成果を発揮することを期待してやみません。

(県芸術振興会議副会長)

大分県芸術祭の歌

「こんなにきれいな空だから」

作詞 池野 美千留

- 1 こんなにきれいな空だから
こんなにきれいな花ひらく
この誇しさ いつまでも
この喜びを もろ共に
光あふれる ああ大分芸術祭
- 2 こんなにみごとな山だから
こんなにみごとな夢がある
このたくましさ 一筋に
この盛衰を 創造に
力みなぎる ああ大分芸術祭
- 3 こんなに 明るい街だから
こんなに 明るい歌がわく
このさわやかさ 身に浸けて
このあなごころを とこしえに
行かかやく ああ大分芸術祭

大分県芸術祭の歌「こんなにきれいな空だから」

100-108 さわやかに 明るく 作詞 池野美千留
作曲 徳部 初男



大分県芸術祭参加規約

芸術祭の参加については、この規約の定めるところによる。

- 参加部門
参加部門は、芸術祭の趣旨に賛同し、自主的に
なり次のものとする。
(1)音楽 (2)演劇 (3)美術 (4)文芸
(5)舞踊 (6)映画・放送 (7)児童文化
(8)生活芸術 (9)その他
 - 参加行事
(1) 参加行事は、芸術祭にふさわしい内容を持ち、
意欲的なものとする。
(2) 参加行事の費用は、当該主催者（参加団体）が
負担するものとする。
 - 申し込み方法
参加を希望するものは、別紙様式の申込書に所要
事項を記入し、大分県教育庁社会教育課あて8月15
日までに申し込むこと。
 - 参加の決定
参加の可否は、芸術祭運営協議会に諮問のうえ申
込者に通知する。
 - 表示
参加行事は、ポスター、プログラム等に「第 回
大分県芸術祭参加」と表示するものとする。
 - 報告
参加行事の主催者は、終了後速かに事業報告書に
ポスター、プログラム、写真等の資料をそえ、事務
局に報告するものとする。
- 附則 この規約は昭和41年5月26日から施行する。

大分県芸術祭運営協議会規約

- 大分県芸術祭（以下「芸術祭」という）に関し
主催者の諮問にこたえるため、芸術祭運営協議
会を設ける。
- 委員は再任されることができる。
- 本会の委員は、芸術祭関係機関、団体および学
識経験者の中から大分県教育委員会が委嘱する。
- 委員は20名以内とする。
- 本会には、委員の互選により、議長および副議
長各1名をおき、会議を主宰する。
- 附則
この規約は昭和41年5月26日から施行する。
- 委員の任期は2年とする。ただし欠員が生じた
場合における補欠委員の任期は前任者の残任期
間とする。

大分県芸術文化振興会議規約細則

- 規約第2条の各種文化団体とは、次の各号に該当しない団体とする。
 - 一党一派に偏する政治、または宗教活動を目的とする団体
 - 経済利益を目的とする団体
- 規約第13条による会費は年額1口1,000円とし、毎会計年度内に納入する。一度
納入した経費は事情のいかんを問わず返還しない。
団体の場合 年額 1口以上
個人の場合 年額 1口
- 入会にあたっては入会申込書と同時に会費を納入するものとする。

第6回大分県芸術祭を成功させよう

県音協の総力

「ベートーベン生誕二百年記念演奏会」

と県民オペラの第2弾「椿姫」に

結集

北村 宏通

第6回大分県芸術祭開会行事を、大分県音楽協会が開催することになって、第4回、第5回と開会行事を担当するのが計3回になりました。このように3回も続けて取り上げて下さったことに、関係者各位に心から感謝申し上げます。

さて本年度の2つの主催行事、それは、開会行事としての、ベートーベン生誕二百年記念演奏会と、オペラ「椿姫」です。前者は県音協の各部門が1ステージを制作し、県音協の総力を結集した演奏会で、後者は県音協に加入団体の「県民オペラグループ」の制作です。

ベートーベンの生誕を祝い演奏会は、全世界でおこなわれ、本年の楽壇は全くベートーベン一色にぬりつぶされています。そして日本はドイツ民族に次いで、彼を愛し、またその演奏数も多い。たとえばある新聞社が主催した、「ベートーベン生誕記念演奏会は、彼の全作品を日本最高の演奏家を網羅して行なうなど、中央では大センセーションをおこしているようです。

本県の記念演奏会は、各演奏形態中より、それぞれ1曲ずつ演奏します。曲目と演奏者は、「弦楽三重奏変ホ長調」を、大久保真知子、久保不二朗、山本恭正、「フルートソナタ変ロ長調」を藤野翔三、ピアノ伴奏を、荻本英子、「ピアノソナタ32番ハ短調」を辛島淳一、「荘厳ミサ曲」(抜粋)を、指揮中山開二、ピアノ伴奏村上信子、独唱者は、ソプラノ園田純子、アルト松下千鶴、テノール松尾英一、バス北村宏通、合唱を県内合唱団を合同して、約二百名で演奏します。冒頭にも述べましたように、これらの演奏は大変滋味ですが、高度な内容、演奏ともに、県音楽界の歴史に一大エポックを作るといってもいいと思います。

「椿姫」の方は、スタッフ陣に人を得て、ごうかな舞台装置、きらびやかな衣装、出来得る限りの照明効果等目を見はるような舞台になると思います。「フィガロ」の時は、出演者は音大卒の人が中心だったが、今回は一般社員等もキャストに入り、この意味で専門家と、アマチュアが一体となり、県民を更に身近かなものと感じさせるようになったと思う。またこの会には、しっかりした後援会が出来、自主公演をこれから続けていけるよ

うになった次第です。このように三回開会行事を続けて実績を挙げ得たと思いますので次は大分合同新聞社の企画でもあるバレエ協会の制作にバトンを渡しました。それは、県民バレエ「白鳥の湖」。楽しみです。

(県芸振会議事務局次長・県音協事務局長)

県短詩形文学に寄与する俳句大会

久保青山

この俳句大会(代表者 平田寒月)は芸術祭に参加して第4回目であり、平素俳句を嗜んでいる人々(県人と限らない)が一堂に会し、日常の創作を披露するもので参加資格を問わない。従って申込みも不用。出席されない方は応募投句することもできる。

この句会も参加人員において、その作品の質において年とともに盛んになり、内容もまた向上し、今年こそ大会賞を志す創作意欲はまことに大きいものがあり大分県短詩形文学の向上に寄与している。

大会順序

10月4日(日) 正午 締切
大分市大分駅前 朝日生命館七階ホール

出席者は会費500円(昼食記念品句集)納入の上、三句投句箱に入れる(当日欠席者は、三句に200円を添え9月28日消印有効応募すること)

投句用紙は1枚1句で番号が入っている。
投句控を投句控入れ箱に入れる(作品と住所氏名が、決定されている)

投句箱の句は混ぜられた後出席者に配付の上1句を2枚(白・赤用紙)に清記させる。
(清記、選とも誰の作品かわからない)

白清記用紙組・赤清記用紙組に分れて全作品について出席者は選をする。

選者は全作品のうちから、大会賞、佳作賞の句を選ぶ
県知事賞は最高選者の選入たつみ先生選の1位のもので決定される

大会賞だけ事務局で重複を避けるため、調整する。
(例えば同一句が県知事賞と県議会議長賞にならないように)

披講は各人の選、選者の選別にする。

互選賞

披講の時20名内外の係員により句の番号を1句1句採点し、人単位に最高点から受賞が決まる。

選者評・表彰式となる。

(俳句大会事務局世話人)

「短歌を語る会」に重要な意義

ことしは「時事詠について」

鶴見英之

大分県芸術祭が開催されることになった昭和40年、大分県歌人クラブがその参加行事として第1回の短歌コンクールを催してからことして6年目。

ことしは芸術祭参加の集中行事として、例年より1か月、開催時期を早めて行なうことになった。そのため応募作品の締切りは例年10月15日だったが、ことしは9月10日に締切った。県内各派、各結社や無所属の同好者から寄せられた応募作品は25名の審査員によって審査され10月17日午後1時から大分駅前朝日生命ビルのホールで表彰式が行なわれる。

このコンクールは表彰式当日行なわれる「短歌を語る会」に重要な意義を持たせてある。県下の各結社や地域では初心者指導に重点を置いた結社歌会や地域短歌会が活発に開催されているが、年1回持たれるこの「短歌を語る会」では各結社各派の歌人たちが一堂に集まって、他の歌会などに見られぬレベルの高い討論を、一定のテーマのもとでディスカッションし、相互の研究と短歌の質の向上に役立てることとしているからである。

第1回からのテーマを振り返ってみると、昭和40年の第1回が「戦後歌壇の動向について」第2回が当時たまたま「短歌展」と併行して開いた関係もあったので「明治・大正の歌、いまの歌」第3回が「短歌における虚構と真実について」第4回が「短歌におけるリアルとロマンについて」そして昨年の第5回が「現代短歌はどおりあるべきか」というテーマであった。

ことしは「時事詠について」というテーマで短歌を語ることになっているが、このように短歌の内容について限定した対象を討論のテーマにするのはことしが初めてである。目まぐるしく発展する人類社会の刻々に発生する時事問題は、もちろん自然詠や人事詠、生活詠とともに重要な短歌の素材である。そういう時事詠が作者とのつながりにおいて、どのような角度から取上げられ、どのように感動を集約して取扱うべきか、そういうことがことし話題となつて、そこから短歌のありかたが論議されることと思う。大ぜいの短歌愛好者や応募者がこの会に参加し、活発な発言がなされることが期待される。なお、この討論の司会にはお忙しいなかを毎年大分合同新聞の官瀬文化部長にお願いしているが、その点感謝に堪えない。

(県歌人クラブ副会長)

創作音楽と劇音楽で

県職音「音楽の夕」

中野幸和

私たちの職場音楽連盟は、仕事の余暇に音楽を楽しみそれを発表することによって、職場を明るく、さらには私たちの郷土を音楽的に豊かにしようと、去る42年6月24日に県内18の職場音楽団体が集まって結成いたしました。

年間の主な専業は、①職場音楽祭の実施 ②研究会の開催 ③施設の音楽顧問 ④機関紙の発行などで、それぞれ実績をあげて運営して参りました。

本年の音楽祭は、第4回を迎えたいわけですが、10月8日、午後6時から、文化会館で県芸術祭集中行事「音楽の部」として、大分マンドリン協会ならびにOBSコーラルのみをさんと共催で開催することにいたしました。

今回の「音楽の夕」は、常日頃職場でそれぞれ練習している音楽1部と4部に、2部は創作音楽で、劇音楽「なよたけ」歌曲「こどもの四季」に続いて、本年は「私の作った歌」と題し、NHKあなたのメロデーに入選した曲と「宗りん音頭」の特別発表をいたします。3部は、マンドリンとコーラスで、大分マンドリン協会とOBSコーラルの方々が共同構成です。なお4部のフィナーレには、参加団体全員合奏で幕を閉じることにしています。

今後とも、みなさま方のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。(県職場音楽連盟理事長)

県職場音楽祭に共演する

マンドリン協会

堤 功

協会は昭和28年5月田村卓夫氏の指導で大分マンドリンサークルとして創立され、昭和32年11月トキハ文化ホールにおいて同氏指揮の下にラジオ大分合唱団等の賛助を得て第1回の演奏会を開催いたしております。その後34年に福田五彦氏を指揮者に迎えましたのを契機に大分マンドリン協会と改称し、さらに44年同氏に代り安東孝洋氏を指揮者として現在に及んでいます。

毎週月曜日午後6時から初心者のために、さらに7時から個人的な音楽愛好者をはじめ、職場単位のクラブがグループで集まり明るく楽しい合奏練習が始まります。

既に定期及び友好団体との合同演奏会、放送、芸術祭への参加、慰問演奏等幅広い活動を続けマンドリン音楽を通じ、社会教育の普及並びに同好者の親睦を図っております。

なお、本年も県職場音楽祭に共演し、そこでマンドリンのオリジナル曲として単独演奏いたします「魅惑島」は、オランダの作曲家J. コック(1889-1954)の作品でも特に傑作として知られている曲で最初の力強いスタートから中程の幻想的なカンタビレ、さらに続いて明るく歯切れのよい終局へと展開されていく優美な旋律です。どうぞご期待ください。

(大分マンドリン協会代表者)

OBS コールの女声合唱

伊 勢 敏 郎

OBSラジオの電波にのせて、毎朝女声コーラスを、お送りしているのがOBSコールの仕事である。メンバーの平均年齢 22 歳。看護婦・銀行員・公務員……。昼間は働く。土ばかりである。練習は週 2 回、夜の 2 時間。新しい楽譜が配られて 4 回めの練習日には三曲の録音をする。大変なノルマである。でも若さとスタミナをもって結構消化している。「職場音楽祭」には第 2 回めから出場している。日頃はスタジオの中でマイク相手の演奏なので、このようなステージ演奏には団員一同気分もあらたに張切って練習にはげんでいる。今回の曲目は、マンドリンを指導されている田村先生と相談し、みんなに親しまれているポピュラーな曲ということで、外国の民謡を選んだ。イタリー「村の娘」アメリカの「コロラドの月」フランスの「真珠とりの唄」。リズムも二拍子三拍子・タンゴと変化を考えて選曲してみた。伴奏がマンドリン合奏なので歌う方もピアノ伴奏とは違った柔軟性と、はばのある表現ができるのではないかと思う。

また、女声合唱とマンドリンのそれぞれのかもし出すニュアンスには相通ずるものがあり、演奏効果も一段と上がるのではないかと期待している。

(OBS コール指揮者)

大分県演劇祭は 演劇団体育成発展のための試金石

藤 本 政 敏

大分県演劇祭は、大分県高等学校文化連盟、大分県連合青年団、劇団造形劇場の三者の合同公演によって実施されることになった。

ずっと以前に、このまうな試みがなされたことがあったと聞いたが、その時は経費も出演団体の自己負担で、会場もいまのように条件のそろったものではなかったとの話を聞いている。

それにくらべると、こんどの試みは、経費を県で負担して実施するもので県下の演劇団体の育成発展のための試金石であり、質的に高まりつつある演劇活動の助長、発表の機会の提供、県民への鑑賞の機会の提供のためにもきわめて、意義あるものと考えられる。

しかし、まだ大分県下には演劇団体はあってもその協議体はなく、相互連携についてもじゅうぶんとはいえない現状にある。

これを契機に職場演劇をはじめ、高文連、青年団、専門劇団を含めた広範囲の演劇グループの交流が行なわれ県下の演劇活動がいつそ活発となることを心から祈るものである。

(県教育庁文化係長)

来年(第7回)の県芸術祭開幕行事は「県民バレエ 白鳥の湖」で

「県民バレエ」の上演について、2 回目の芸術会議小委員会が 9 月 26 日開かれた。同席上県洋舞踊協会加盟バレエ研究所の統一希望意見として「白鳥の湖」全 4 幕が出されたが、同小委員会はこれを了承。来年第 7 回の県芸術祭の開幕行事として「白鳥の湖」が正式決定。今後は県民バレエ運営委員会を発足させ、具体的な構想にはいる。

消 息

- 県美術協会ではこのほど会員手帳を発行。会員名簿、会則、小史入りで、全会員に配布した。
- ・ 日洋彫工部では会報 22 号を出して秋の県展を特集。
- ・ 大崎昭明氏個展(県美協事務局次長、二科写真部会友) 10 月 10～20 日、東京銀座ベントックスギャラリー
- 県歌人クラブでは次の人事異動が行なわれた。
- ・ 小原由岐雄氏が鶴見英之氏のあとを受けて、県歌人クラブの事務局長に 4 月 1 日就任。
- ・ なお鶴見英之氏は歌人クラブ副会長に選任された。
- ・ 葉山耕三郎氏は 5 月 7 日肺がんのため別府国立病院で死去。
- ・ 田吹繁子氏が葉山耕三郎氏の死去にともない、7 月に開催の常任委員会で県歌人クラブ会長に選ばれた。
- ・ 下郡峯生氏、葉山耕三郎氏の死亡により、氏が編集委員会を組織し、短歌雑誌「歌帖」の編集責任を受持つことになった。なお、葉山氏の後任として大分合同新聞の短歌選者に推せんされた。
- 県児童文化協会では九州沖縄文化協会、大分県、県教委と共に「ロルフ・シャレ」の pantomime 公演を主催する。10 月 22 日 PM 6.30 大分文化会館、入場料

A 券 300 円、B 券 200 円

- 県文化団体連絡協議会では第 5 回大分県平和作品展を 12 月 8 日～13 日まで大分文化会館で催す。
- ・ 「民謡と詩歌」発刊、日田観光協会が 200 部印刷。日田地方に伝わる民謡・盆踊り歌など収録。
- ・ 佐伯市文化会館着工が具体化。市内三の丸公園の御殿跡に鉄筋コンクリート三階建、郷土資料室や会議室の他に 2.3 階は 1,300 席の大ホールを予定。総工費約 3 億 5 千万円で、城山と旧鶴谷城を象徴したものを建設する。
- 京都御所・桂離宮展(トキハ文化ホール) = 7 日(水)～18 日(日)、この展覧会は京都御所、桂離宮に秘蔵されている美術工芸品、調度品、衣装など 135 点を展示、平安王朝以降現在に伝わる日本文化の精神を紹介するもの。入場料は一般 200 円、大学高校生 150 円、小、中生 100 円。大分合同新聞社主催
- ギャラリー EDA、が大分市城崎町 3-3-29、大分エースレーン、マロンホールで 10 月 1 日オープン
- 新世紀群 所在地・代表者・事務局長変更 大分市長目丁 3 浜 3 丁目 6-24 (釘宮哲子) 池辺庸寛

第6回大分県芸術祭主催行事・参加行事一覧

I 主催行事

部門	行事の名称	日時	場所	主催団体
音楽	<開会音楽会> ベートーベン生誕200年記念演奏会	10月1日(木) 18:30	大分文化会館	大分県音楽協会
		10月3日(土) 18:30	大分文化会館	大分県音楽協会
音楽	県民オペラ「椿姫」公演	10月4日(日) 14:00 11月28日(土) 12月5日(土)	宇佐市四日市高校体育館 日田市民会館 佐伯市(予定) 竹田市()	# # # #
音楽	芸術祭集中行事 (1) 音楽の夕	10月8日(木) 18:30	大分文化会館	大分県職場音楽連盟 大分マンドリンクラブ OBSコーラス
演劇	(2) 大分県演劇祭	10月9日(金) 13:30	#	大分県高等学校文化連盟 ⑧2611
舞踊	(3) 民踊まつり	10月10日(土) 12:00	#	大分県連合青年団 造形劇場 大分県民踊連盟 ④8718
文芸	(4) 文芸部門 ① 大分県俳句大会 ② 大分県芸術祭短歌コンクール ③ 大分県川柳大会	10月4日(日) 10月17日(土) 10月18日(日)	大分市(朝日生命館) #() (春日校区福祉会館)	大分県俳句大会事務局②1111 大分県歌人クラブ③7835 大分県川柳大会事務局③0635

2 参加行事

部門	行事の名称	日時	場所	主催団体
音楽	第7回箏曲演奏会	10月28日(水)	大分文化会館	創明音楽会九州支部 ②1981
#	エル・アフィシオナード・デ・ギター演奏会	10月26日(月)	トキハ文化ホール	九州ギター協会大分支部 ④7007
#	第12回大分県邦楽大演奏会	11月3日(火)	大分文化会館	大分県三曲協会 ②0485
#	第11回定期演奏会	11月23日(月)	大分文化会館	大分大学グリーン・クラブ
#	大分高校マンドリンクラブ第6回演奏会	11月28日(土)	#	大分高校マンドリンクラブ ②4006
演劇	第23回大分県高校中央演劇祭 (杵築会場)	11月13日(金) 14日(土)	杵築市民会館	大分県高等学校文化連盟 ⑤2611
#	第23回大分県高校中央演劇祭 (佐伯会場)	11月20日(金) 21日(土)	佐伯豊南高校体育館	大分県高等学校文化連盟 ⑤2611
#	第6回大分県人形劇フェスティバル	11月21日(土) 22日(日)	別府市鶴見園	大分県人形劇サークル協議会 ④7125
美術	第6回大分県美術展覧会(写真・書道)	11月3日(火) ~ 8日(日)	トキハ文化ホール	大分県美術協会 ④2159

美術	第6回大分県美術展覧会 (日・洋・彫・工)	11月10日(火) ～15日(日)	トキハ文化ホール	大分県美術協会 ④2159
"	第13回別府市美展	10月5日(月) ～8日(木)	別府国際観光会館	別府市美術協会 ⑤2453
"	第5回大分市民美術展覧会	10月28日(水) ～11月1日(日)	大分文化会館	大分市教育委員会 ④6111
"	第15回蒼土会展	11月28日(土) ～30日(月)	別府国際観光会館	蒼土会事務局 ③1904
"	大分県宣伝美術会秋季展	11月17日(火) ～22日(日)	トキハ5階	大分県宣伝美術会 ②0797
文芸	大分県アララギ歌会	11月15日(日)	別府市民会館	大分アララギ会 別府③1876
"	「文芸風土」県芸術祭参加特集号の発刊展示(12号13号)	10月1日(木)～ 11月30日(月)	県内の公立図書館	文芸風土発刊所 別府④8155
"	現代詩を語る会	11月15日(日)	国東町中央公民館	「門」詩友会
舞踊	笠木啓子バレエ研究所発表会	11月22日(日)	大分文化会館	笠木啓子バレエ研究所 ②0732
"	秋の藤間の会	10月18日(日)	"	藤茂会 ②0015
児童文化	第8回大分県児童文化祭	11月3日(火)	"	大分県児童文化研究会 ⑦2051
総合	豊後高田市総合文化祭	11月1日(日) ～4日(水)	豊後高田市中央公民館ほか	豊後高田市文化協会 ②2148
"	第11回犬飼町民文化祭	11月1日(日)	犬飼町中央公民館	犬飼町民文化会議 47
"	竹田市秋の総合文化祭	11月1日(日) ～10日(火)	竹田市中央公民館ほか	竹田市文化連盟 ②2191
その他	秋の文化祭	10月25日(日)	別府国際観光会館	別府芸能文化協会 別府③2627
"	昭和45年度秋季吟道大会	10月25日(日)	別府市民会館	社団法人日本詩吟学院岳星会 別府②1666

3 特別参加行事

音楽	辛島輝治ピアノリサイタル	10月5日(月)	大分文化会館	社団法人大分舞鶴高校同窓会②2268
"	東京シティバレエ団公演	11月19日(木)	"	大分勤労者音楽協議会 ④9398
美術	チャーチル会九州大会	11月7日(土) ～8日(日)	湯布院町レークサイドホテル	チャーチル会大分 ②2480
その他	西日本神楽大会	10月12日(月)	大分文化会館	大分市

—「芸振」— 編集計画

昭和45年度～昭和46年度

編集テーマ 『大分県芸術文化の現況と今後の課題』

〔昭和45年度〕

- 7月号 —— 創刊特集
 - ・規約 ・小史 ・参加団体名簿 ・役員名簿
 - ・第2回九州芸術文化振興会議報告
- 9月号 —— 県芸術祭特集
 - ・県芸術祭規約 ・主催行事の構想 ・参加行事一覧
- 11月号 —— 県美術特集
 - ・県美協 ・大宣美 ・華道界も含めた
- 1月号 —— 県文芸特集
 - ・小説 ・詩 ・俳句 ・短歌など ・文芸誌発行
- 3月号 —— 県芸術教育特集
 - ・児童文化 ・高文連 ・芸術短大
 - ・学校教育と芸術教科 ・芸術教育研究団体

〔昭和46年度〕

- 5月号 —— 県音楽特集
 - ・県音協 ・コーラス ・マンドリン
 - ・和楽詩吟も含めて
- 7月号 —— 県演劇特集
 - ・劇団 ・人形劇 ・劇場演劇など
- 9月号 —— 県舞踊特集
 - ・洋舞 ・日本舞踊 ・芸術関係を含めた
- 11月号 —— 県立美術博物館建設促進特集
 - ・県立美術博物館期成会
- 1月号 —— 県文化財特集
 - ・史談会 ・県文化財保護 ・茶道も含めた
- 3月号 —— 地方文化団体特集
 - ・市町村文化活動 ・公民館 ・青年団 ・婦人会文化活動
 - ・農漁村と文化 ・へき地と文化活動など

最近ヨーロッパで感じたことは、日本の女性が非常に評判がよいことである。ドイツのある新聞に世界でどの男性や女性が優れているかという記事があった。

女性はブラジルが第一位で二位が日本、三位がデンマークである。男性の方だとみると日本はなんと二十二位であった。ひどく象徴的である。工業生産高は世界第二位である日本は国民所得では二十二位、家にいる時は二十二位で、会社に行くと二位という、世界男女の評判と同じことに興味を感じた。日本の女性はモチがよい。中年になってもフケない。秋山ちえ子は五十二歳ぐらいであるが、ドイツでは十八歳にみられた。戸塚綾子はバスボートの生年月日を見てママのとまちがえたのではないかといわれた。デザイナー

第二回九州地区芸術文化振興会議特別講演

朝のこない夜はない

の田中千代は六十歳をこえているのにモナコでは遊興場の入口で入場を断られた。日本の女性は大和撫子というが、撫子は別名「とこなつ」という。つまり花の期間が長いという意味。よくもいい名をつけたものだ。

世界中で一番きれいな女性はアメリカの女性であるといわれている。湖の精、森の精の様な女性がいる。それは旧大陸の人間が、新大陸に行って生活して、第一次混血をし、第二次の民族の混血をした。混血の人は二十歳までで、それからはフケやすいという。ドイツのふとつた女性は大変なものである。二十三歳頃からしまりがなくなりビール桶の様になってくる。

ニューヨークに五番街がある。ここに花の公園といわれるところがあるが、夕方になると老夫婦がいっぱいである。彼等は何を見たとなしにポーツとベンチに腰かけ

ている。ふとつた老女が泣き出す。それをやせた老夫が体を抱くようにしてなくさめる。こんな風景があらこちで見られる。

アメリカでは六十五歳まで働いて、あとは安楽な人生を過す。ところが停年後に生きがいを持たない彼等は孤独である。ニューヨークでは朝の十一時頃からこども見る様なたわいもない映画を老人がみんな見ている。ドラキュラとかフランケンシュタインの映画をみて午後一時過ぎに家に帰る。全く悲劇である。

アメリカではフリーセックスで離婚が自由である。親子の関係が薄い。老人になると孤独である。社会保障がきき、金があるからいい薬をのむ、だから死なない。死ぬのは自殺である。ス

評論家 扇谷正造

てくるのではないか。

ここで問題になるのが核家族(老夫婦)と核家族(若夫婦)を結ぶ結合家族である。二つの家族を廊下で結ぶ別々に生活してもいいから、時々一緒に食事をする。日常はタッチしない、いざという時は助け合う。孫をみるのが好きだというけれどウソである。せいぜい三日位は可愛い入口も出口も別にする。しかし土地や家がある人はよいが、ない人はどうすればよいか、公団住宅にこんな家をつくればよいと思う。チェッコスロバキヤにはこうした建物がある。親子の家族はスロープのさめなるところに住むことである。

つづく

編集後記

- 第2号はぜひとも9月中に発行して、県芸術祭開幕行事前の盛りあげをねらったが、遂にならず、編集のむつかしさを痛感させられた。
- 編集者と県教育社会教育課、原稿執筆者、印刷所との関係がスムーズに運転しないと会報が発行されないで、今後はこの関係を研究し、計画に乗った発行を心掛けたい。
- 一応2年間にわたる編集計画ができ(7ページ)事務局会の承認も得たので、順次編集される関係特集号には、特別など指導とご協力をお願いいたします。(8)